

日本石灰坑大組合の坑災災害防止運動

日本石灰坑大組合に在りては近時特に坑災災害の續發に依り多くの死傷者を出しつつあるに對し、其の發生原因の多くが學業主の設備不完全と労働者の勤務時間延長等の労働強化に因るものにして至く學業主の責任なりとして之れが事故防止の爲徹底の闘争を取行することを決定（昭和十年十一月十日の執行委員會に於て決定）したのである。

而して其の實行方法として、坑坑所<sup>地</sup>在<sup>地</sup>各郡下に一個所演説會又は坑災大會を開催すること、礦山監督局就職出張所の設置運動、本運動の効果的手段として中央方面の政治問題化すること等を決定し之れが實行運動に入つたのであるが別紙「石灰坑災害防止闘争運動に参加せよ！、全坑業の坑災災害に告ぐ」と題する『ピラ五

萬枚を印刷し、山川文部一萬五千枚、教手文部一萬枚、精進支部一萬枚及び本部一萬五千枚宛々配布各地方へ撒布して宣傳に努めつつあるが、大會決議事項たる組合員一千名突發運動と共に取組の積極なる運動として注目すべきである。